



## 27正立フロントフォーク用

# LEDスピードメーター・電気式タコメーターキット取扱説明書

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号：05 05 3042

適応車種及びフレーム番号

モンキー：Z50J 2000001～

：AB27 1000001～

ゴリラ：AB27 2500001～

## 正しく安全にご使用頂くために

このキットは弊社 27正立フロントフォークキット、又は、ノーマルフロントフォーク用バーハンドルタイプトップブリッジ、ヘッドライトステー(09-03-007)及び、汎用ヘッドライトキット(09-03-072)、マルチフレクターヘッドライトキット(09-03-078)取り付け車専用用品です。ノーマルヘッドライトでは取り付け出来ませんので、ご注意ください。

このキットは、12V車専用です。6V車での使用は出来ません。又、スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーCDIを除いて、他の点火系部品との併用はなさないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。

外品のバッテリーレスキットとの同時装着はしないで下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## ～特徴～

スピードメーターはオドメーター付きで140km/hまで測定出来ます。

タコメーターは精度の高い電気式で最高表示回転数は14,000rpm。

メーター本体は耐久性の高いステンレスを使用し、ラバースタンプ式により振動低減させています。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・取り付け作業は、必ずエンジン冷間時(35℃以下)に行ってください。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行った場合、火傷の原因となります。
- ・作業を行う際は、安全に十分注意し作業に適した工具を用いて行って下さい。
- ・各ボルト、ナット類は必ずトルクレンチを使用し、指定トルクで締め付けて下さい。
- ・本品には運転者に注意を促す速度警告灯がついておりませんので、速度超過には十分注意をし、安全運転を行ってください。
- ・走行前は、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

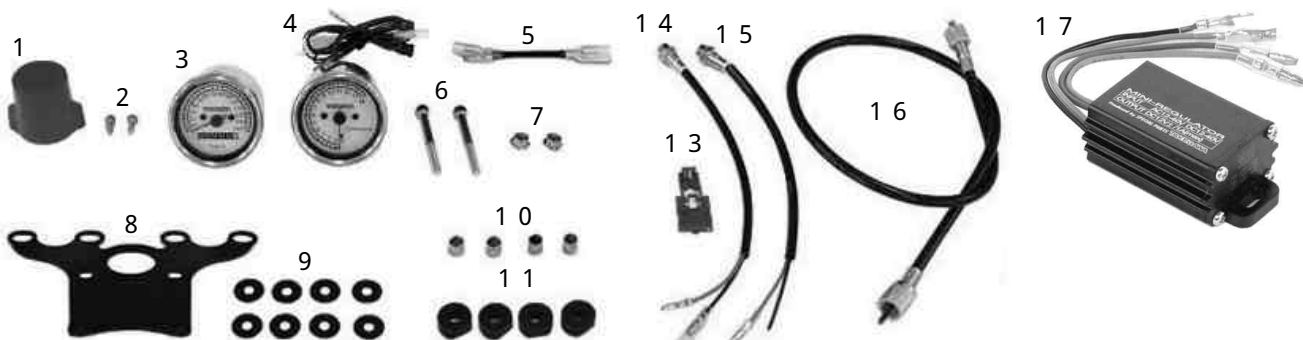
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

## 正立 27フロントフォーク用適応車種

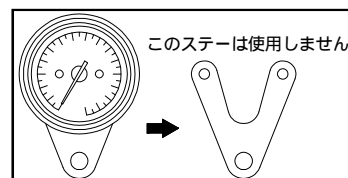
・ロングタイプのハンドルホルダー及びノーマルフォーク用トップブリッジご使用の場合は、ソケットキャップスクリューの変更が必要になりますので別途お買い求め下さい。

- |                   |               |      |         |    |
|-------------------|---------------|------|---------|----|
| ・10mmアップタイプ       | ソケットキャップスクリュー | 6×70 | ネジ長25mm | 2本 |
| ・20mmアップタイプ       | ソケットキャップスクリュー | 6×80 | ネジ長25mm | 2本 |
| ・ノーマルフォーク用トップブリッジ | ソケットキャップスクリュー | 6×70 | ネジ長25mm | 2本 |

## ~商品内容~



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	コンビネーションスイッチカバー	1	09 03 0013	1
2	タッピングスクリュー 4×12	2		2
3	61LEDスピードメーター	1	09 01 0051	1
4	61LED電気式タコメーター	1	05 05 0004	1
5	サブコード(黒)	1	37224 181 T00	1
6	ソケットキャップスクリュー 6×60	2	00 00 0045	3
7	フランジナット 6mm	2	00 00 0091	6
8	メーターステー	1	37202 181 T01	1
9	ブレンワッシャ 5×18	8	00 00 0273	10
10	カラー	4		
11	クッションラバー	4	00 05 0019	4
12	六角ナット 5mm	4	00 00 0002	8
13	エレクトロタップ	1	00 05 0015	5
14	LEDニュートラルインジケーター	1	09 001 03	1
15	LEDターンインジケーター	1	09 001 04	1
16	スピードメーターケーブルASSY 670mm	1	09 01 0067	1
17	ミニレギュレーター	1	05 06 0014	1



部品番号12番はメーターに付いています。  
リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。  
予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は  
セット品番にてご注文下さいませお願い致します。

## ~取り付け要領~

- メーターステーにクッションラバー4個を取り付け、カラーをクッションラバーにそれぞれ差し込みます。
- タコメーターのネジ部にブレンワッシャ5×18を入れ、メーターステー右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりブレンワッシャ5×18を入れ、六角ナット5mmを取り付け、指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：5N・m(0.5kgf・m)

- スピードメーターネジ部にブレンワッシャ5×18を入れ、メーターステーにスピードメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりタコメーター同様にブレンワッシャ5×18を入れ、六角ナット5mmを取り付け、指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：5N・m(0.5kgf・m)

- メーターステーにニュートラルインジケーター、ターンインジケーターをそれぞれ取り付け、締め付けます。締めすぎに注意して下さい。
- コンビネーションスイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリュー4×12でカバーを取り付けます。ノーマルライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外し、ロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。ライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で2箇所ロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。

- ハンドルホルダー前側2本のソケットキャップスクリューを外します。ソケットキャップスクリュー6×60に交換し、指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：12N・m(1.2kgf・m)

トップブリッジ裏面の交換したソケットキャップスクリューのスクルー部分にメーターステーを入れ、フランジナット6mmを取り付け指定トルクで締め付けます。(メーターとヘッドライトが干渉したり、クリアランスが少ない場合は、ヘッドライトステーで高さ調節を行って下さい。)

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：12N・m(1.2kgf・m)

- メーターとインジケーターの各配線を配線図の通り接続して下さい。
- スピードメーターケーブルを接続し、ヘッドライトユニットを取り付けて下さい。エンジンを始動して、各メーター及びインジケーターの点灯状況、タコメーターの作動を確認し、問題が無ければ安全な場所で低速走行を行い、スピードメーターの作動確認をして下さい。

△警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動して下さい。

正しく配線が出来ていれば、キーONに連動し、両方のメーター照明が点灯、タコメーターの指針がチェック起動します。

キーONに連動しない、エンジン始動に伴い起動する場合はすぐに使用を中止し、点検作業を行って下さい。

配線が間違っている可能性があります。配線を再度確認して下さい。

バッテリーが弱っている、機能を失っている可能性があります。ヒューズもチェックして下さい。

作動にはDC12V(直流)バッテリー電源が必要です。

タコメーター指針の動きが不安定、ずれている場合

バッテリーが弱っている、機能を失っている可能性があります。ヒューズもチェックして下さい。

作動にはDC12V(直流)バッテリー電源が必要です。

発火回数の設定が合っているか確認して下さい。

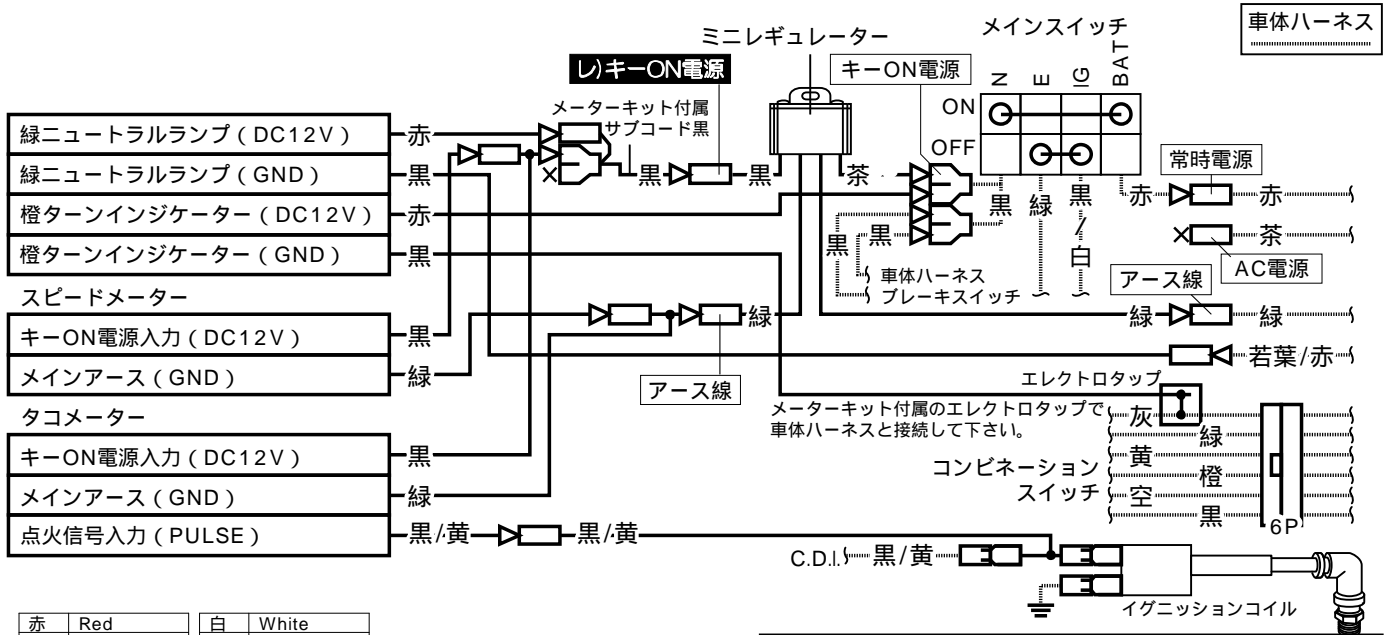
抵抗無しプラグや外品のプラグコードやイグニッションコイル、CDIなどの点火装置を変えていると、作動不良や故障の原因になります。

メーターの黒コードを車体の黒コードに、メーターの緑コードを車体の緑コードに接続して下さい。

タコメーターの黒/黄コードをイグニッションコイルの一次側に接続。発火回数の設定値は“2”。

マークは接続箇所と色が異なりますので、ご注意ください。

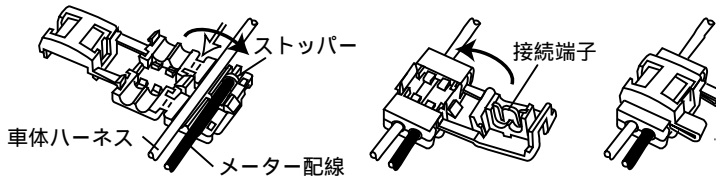
ブレーキスイッチを誤ってミニレギュレーターの入力側に接続すると消費電流の上限値を超えますのでご注意ください。



赤	Red	白	White
黒	Black	灰	Gray
緑	Green	橙	Orange
茶	Brown	空	Light Blue
黄	Yellow	若葉	Light Green

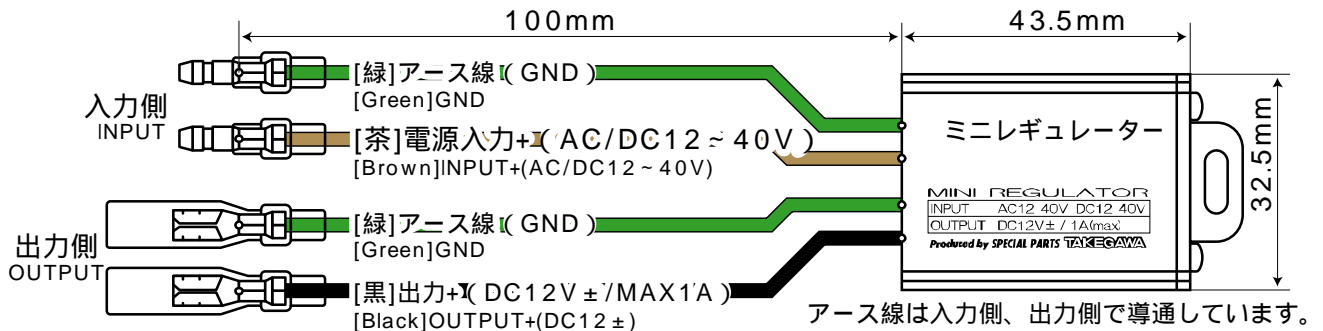
プラグはレジスタータイプを使用して下さい(イリジウム可)。  
 ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用下さい。  
 ノイズが表示の乱れや故障の原因となってしまう可能性があります。

エレクトロタップの使い方



ミニレギュレーターキットについて

接続出来る電装部品の消費電流値は、合計1A (1000mA) 12V12Wまでです。  
 入力最大電圧 (車体側電圧) はAC40V (交流) またはDC40V (直流) までです。



**注意** あくまで車両電装系に問題が発生した時にメーター類を保護する為の補助レギュレーターです。電装系に過度の問題がある状態での使用を続けると純正レギュレーターが完全に制御能力を失う恐れがあり、本製品の最大入力電圧40Vを超える可能性がありますのでご注意ください

## 電気式タコメーターの発火回数設定方法

当製品はモンキーFIやエイブFIでご使用頂けるよう、発火回数の設定機能を装備しております。  
 指針が振れや振り切ったままなど不安定な不具合の場合、設定値ではなく点火信号以外の制御信号やノイズを読み込んでしまっている可能性があります。  
 抵抗無しプラグや外品プラグコード、イグニッションコイル、CDI、発電コイルなどは、上記不具合の原因となりますのでご注意ください。  
 また、弊社適合確認車両以外では、信号を読み込めない可能性があります。

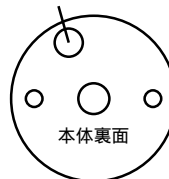
- 1 キーをONして下さい。指針がチェック作動（一度振り切り、0点に戻る）します。
- 2 設定スイッチを長押しして下さい。約3秒後に再び指針がチェック作動を開始したら、指を離して下さい。
- 3 指針はチェック作動した後、現在の設定値を指します。
- 4 スイッチを押す度に設定値が変わり、指針の指す位置も変わります。  
希望の設定値に指針を合わせ、約3秒間何も操作せず待って下さい。
- 5 3秒後、自動的に指針がチェック作動を開始し、設定モードが終了します。
- 6 エンジンを始動し、作動を確認して下さい。

設定値が誤っているとあきらかに異なった数値を指します。例えば、設定値2が正しいバイクで、1と設定すると表示数値が2倍になり、4を設定すると半分になります。

初期モデルは設定方法の一部（1～3）が異なります。

- 1 本体裏側にあるスイッチを押しながら、キーをONして下さい。  
 スイッチは指針がチェック作動を開始するまで押し続けて下さい（キーONの後、約3秒間）。  
 キーON直後に指針がチェック作動してしまったら失敗です。  
 スイッチをしっかりと押しながら再度キーをONして下さい。
- 2 指針がチェック作動を開始したらスイッチを離して下さい。
- 3 指針はチェックした後、現在の設定値を指します。（以下は現行品の設定方法と同じです）

設定スイッチ



設定値	発火回数	比率	参考適合車種	メモ
1	2回転1発火	10000	モンキーFI、エイブFI	多くのインジェクション車
2	1回転1発火	5000	モンキー/エイブ(CDI点火)	多くの4ストローク単気筒車/4気筒車、一部インジェクション車
3	2回転3発火	3333		
4	1回転2発火	2500		
5	2回転5発火	2000		
6	1回転3発火	1666		
7	2回転7発火	1429		
8	1回転4発火	1250		

設定値1で10000rpmの時、他の設定では表の値を指します。

正しく配線が出来ていれば、キーONに連動し指針がチェック起動します。

キーONに連動し指針がチェック起動しない、エンジン始動に伴いチェック起動する場合はすぐに使用を中止し、点検作業を行って下さい。

配線が間違っている可能性があります。配線を再度確認して下さい。

バッテリーが弱っている、機能を失っている可能性があります。ヒューズもチェックして下さい。

作動にはDC12V（直流）バッテリー電源が必要です。

指針の動きが不安定、ずれている場合

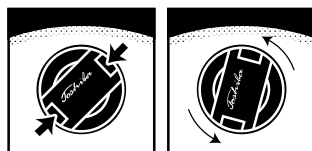
バッテリーが弱っている、機能を失っている可能性があります。ヒューズもチェックして下さい。

作動にはDC12V（直流）バッテリー電源が必要です。

発火回数の設定が合っているか確認して下さい。

抵抗無しプラグや外品のプラグコードやイグニッションコイル、CDIなどの点火装置を変えていると、作動不良や故障の原因になります。

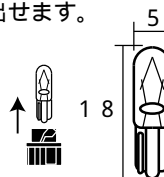
### バルブの取り外し方



底面にあるゴムキャップを外すと、穴の中に黒色プラスチック製のソケットが見えます。  
 ソケット両端の溝を先端の細いラジオペンチやピンセットでつかみ、反時計回りに回して下さい。  
 約30度回すとロックが解除され、ソケットを取り出せます。



弊社リペアパーツ番  
 : 09 05 0051  
 (ソケットとバルブセット)



T5 ウェッジ12Vバルブ  
 (市販品をご利用頂けます)

株式会社 SPECIAL PARTS 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp  
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857